

PCSA アクションレポート(遊技法研究会)

令和 2 年 1 月版

第 80 回遊技法研究会

開催日時 令和 2 年 1 月 30 日（木） 午後 2 時 45 分～午後 3 時 45 分

開催場所 TKP 秋葉原カンファレンスセンター 7A（7 階）

出席者 理事 10 名、幹部 4 名、委員 8 名、オブザーバー 2 名、合計 24 名

出席者 <担当理事>

石川 直史 株式会社ワールド 代表取締役社長

<委員長>

荒田 政雄 夢コーポレーション株式会社 顧問、法律問題研究部会 リーダー

<遊技機検討小部会 副委員長>

大石 明德 株式会社ニラク 取締役、副代表理事

<遊技機検討小部会 委員>

齊藤 周平 グランド商事アドバンス 常務執行役、副代表理事

福井 宏彰 株式会社加賀屋 代表取締役社長、理事

金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長、理事

藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長、アドバイザー

<景品検討小部会 副委員長>

石山 一広 三本珈琲株式会社 常務取締役

<景品検討小部会 委員>

國澤 良幸 株式会社大商 会長

小玉 幹雄 株式会社昭和堂 専務取締役

中村 克彦 ゼニス株式会社 代表取締役社長

岡本 健 株式会社東和商事 常務取締役

齊藤 信孝 株式会社山宝商会 専務取締役

廣田 道明 株式会社山宝商会 部長

<アドバイザー>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長、代表理事

金本 朝樹 株式会社アメニティーズ 代表取締役社長、副代表理事

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長、理事

山田 孝志 株式会社 TRY&TRUST 代表取締役社長、理事

宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役、監事

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長、モデレーター

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表、アドバイザー

<オブザーバー>

桜井 一英 株式会社ビジョンサーチ社 代表取締役社長

前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役部営業部長

1) パチンコ業界のリスクと課題について

荒田 政雄委員長より、下記の業界のリスクと課題について説明があった。

- ・賞品提供の適正化（インのキャッシュレスに併せ、景品の電子ポイント推進など）
- ・くぎ問題の解決（管理遊技機、設定機能付遊技機）
- ・依存問題対策の対応（要綱作成、回復施設への助成金）
- ・射幸性の高さやギャンブル等依存の因果関係の立証と、制度合理化のための見直し

<意見>

- ・賞品問題は、どこの団体でも取り上げづらい案件で提言も難しい。
- ・「消費税のインボイス問題」は業界にインパクトがあり非常に大きな議論になるところ。業界内だけではなく、国税が決める内容に、どう対応していくかを勉強すべきだと考える。
- ・理想を掲げた提言は、求めるものが企業によって異なるため共感を得にくい。一方、リスクの観点から考えると共感を得やすい。これだけ大きなリスクは、業界が半分になる、存続できなくなる可能性があるとなれば、皆で共通認識を持ちやすい。
- ・せっかく新たに始めるのであれば、この業界が持続可能になるにはどうするかを考えて、今何をすべきか、という視点が必要ではないか。結果として、法改正が必須というところに戻るかもしれないが、結論ありきの議論では無い。
- ・「遊技機の規則、検定制度」は、いつ何時、業界を揺るがす改正があるともせず、個人的には大きなリスクだと感じている。
- ・「依存問題」も大きなリスクになると感じている。
- ・政策を提言、業界の意見を発信していく団体も必要であるという考え出ている。
- ・遊技機については、「管理遊技機」の情報公開はどうなっているのか。
 - > 管理遊技機にメリットはあると聞いているがどうなのか。
 - > データの管理をメーカーでは無く第三者機関に任せるべきとの声も聞く。そこは研究する余地、価値はあると思う。
 - > PCSA の特徴はユーザー目線、ファン目線で考えるというところ。その目線で考えると管理遊技機にお客様目線でのメリットには疑問。
- ・「消費税のインボイス制度」は大きな問題になってくる。
 - > どのような影響が出るか？
 - > 玉貸しの売上 20 兆円に対し 1 兆円以上の消費税が生じる可能性がある。
 - > そうなると業界は立ちいかなくなる。そうなる確率は低いと思う。
 - > 現在のところ、国税から方針は出ていない。
 - > 国税とのルートは作っておくべき。
 - > カジノの状況は？・・・消費税の対象外。
 - > 海外にインボイス制度はあるのか？・・・ヨーロッパではインボイス制度導入している。
- ・メダルレスや管理遊技機の仕様が決まるのではないか。
 - > ほぼ決まっている。
- ・管理遊技機と同様、お客様にメリットは何があるのか。そこをもっと議論すべき。
- ・管理遊技機はデータを管理する為に特殊なユニットなどが増えコストが増加、その負担はどこにかかるのか。
- ・管理遊技機のメリットは、出玉が規則に抵触していないことがデータから明確になる。
 - ※ 次月度以降のテーマは「インボイス」と「管理遊技機」としたい。情報共有を継続したい。

2) 次回開催

第 81 回遊技法研究会

開催日：令和 2 年 3 月 19 日（木）

時間：午後 2 時 45 分～午後 3 時 45 分

場所：TKP 秋葉原カンファレンスセンター（東京）

<同日 他スケジュール>

14：45～15：45 «第 81 回遊技法研究会»

16：00～17：30 «3 月拡大理事会»

17：45～19：15 «情報交換交流会»

以上